



2月うぶやま天文台星空情報 2

月が木星、火星に接近



天空が広がる(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)一覽三山の台であるうぶやまの高原には積雪があります。大変寒いのですが、冬は空気が澄み切っていて星空は一番きれいです。晴れていれば肉眼で見える限界の6等星や天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

2月のうぶやま天文台の星空情報の第2弾は、2月6日～10日に半月過ぎの月と木星、火星が接近する天文現象です。

冬の星座には多くの1等星が見えています。今年はそれに加え、宵の空、高い所に木星と火星が輝いていて、とてもにぎやかな空です。-2等級の木星は、おうし座のアルデバランより少し高い位置にあり、明るく目立ちます。火星は、木星よりはやや暗いものの-0.5等級を保っています。

7日には、木星と半月を過ぎた月が並んで見えます。月も木星も大変明るいため、素晴らしい眺めとなります。9日から10日にかけては、月は火星の近くを移動していきます。12日に満月となる月は明るいものの、-0.5等級の火星も目立ちます。10日の明け方の西の超低空で月が火星を隠す「火星食」が起こります。日本では、北海道の大部分と九州の北部で観察できます。

産山では5時30分ころ、火星が月に隠されながら、西の地平線に沈んでいくのが観察出来ます。しかし、超低空ですので気流等の影響を受けて観察は難しいでしょう。5時頃、火星が月に接近していく様子は、観察することができます。福岡市付近では火星の月への潜入がcaろうじて観察できると思います。

【観察対象】

北

月が木星、火星に接近

2025年 2月 6日～10日 20時頃

東京の星空

東

西

南

国立天文台

